

ワセキン 早稲田の杜金管合奏団 第4回演奏会

2004年3月13日 開場 14:30
開演 15:00

四谷区民センター

新宿区内藤町87番地 03-3354-6171
営団地下鉄丸の内線
新宿御苑前駅下車徒歩5分

入場無料

お問合せ 赤尾達也
090-8313-3897

男子金管 二十樂坊

conductor/
森岡篤
arrangement/
大原実 森岡篤

- ジョージ・ガーシュイン/
デビッド・パーサー編/
「ポーギーとベス」組曲
- リヒャルト・シュトラウス/
「ウィーン市祝典曲」
- シベリウス/森岡篤編/
「フィンランディア」
- 松任谷由実/大原実編/
「春よ、来い」
- 荒井由実/大原実編/
「中央フリーウェイ」
他

- trumpet/
磯崎直人 大内仁
北村和弘 久保正彰
近藤悦子 杉山雅彦
坪井賢一 山瀬幸雄
- horn/
川俣裕章 塚田義昌
辻村憲治 渡辺勇次
- trombone/
赤尾達也 石田了
内田憲一 小倉啓美
高森仁志 酒井忠雄
原田京一
- euphonium/
山田徹
- tuba/
新井英介 牛野広一郎
- percussion/
小田崇史

大当!



NG

NG

WASE KING the 4th CONCERT

第 1 部

1. 「ウィーン市祝典曲」よりファンファーレ(リヒャルト・シュトラウス/独 1864-1949 エリック・バンクス編曲)

〔山瀬・坪井・岡本・北村・磯崎・大内・杉山・辻村・渡辺・川俣・山田・小田・新井・牛野・原田・小倉・酒井・石田・赤尾・内田〕

1943年に作曲された金管楽器のための作品。ウィーン・トランペット合奏団に献呈されました。全曲版「ウィーン市祝典曲」と短縮版の「ウィナー・ファンファーレ」があり、本日演奏するのは後者をさらに編曲したものです(1979 Hawkes & Son)。作曲家自身の手書き楽譜(原典版)は1980年代まで行方不明でしたが、1989年にミュンヘンで初演されています。

2. ダブルエコーのカンツォーナ(ジョヴァンニ・ガブリエリ/伊 1557-1612)

〔Ⅱ:坪井・山瀬・渡辺・原田/Ⅰ:大内・磯崎・辻村・小倉・新井/Ⅲ:北村・杉山・川俣・赤尾〕

この曲は、3グループに配置された金管群によって、中央のアンサンブルから奏されるテーマが左右にこだまして距離感と奥行きを感じさせ、その対位法的な構成の面白さとともに華麗な効果をあげています。

3. ホルン四重奏「バロック組曲より『ガイヤルド』、『クーラント』」(プレトリウス/独 1571-1621)〔塚田・川俣・辻村・渡辺〕

ワセキンに新たに20数年振りに楽器を取り出したホルン奏者が加わり、ホルン四重奏のできる人数になりました。平均年齢が最も高い(?)ホルンパートによるアンサンブルです。優雅な響きをお楽しみください。

4. 7本のクラリーノとティンパニのための協奏曲(アルテンブルク/独 1734-1801 山瀬 幸雄編曲)

〔岡本・大内・坪井・北村・小田・山瀬・磯崎・杉山〕

機能的に音階演奏困難であった時代に、特殊変音機能を備えた親方(ソロ)を囲んだ2群の7本のラッパによる華々しくも賑々しい楽しい曲です。今日は、ソロ3人以外の4本のラッパは、わが団の楽器製作者、マイスター山瀬の作品(ホールに展示してあったあのシロモノ!です)を使用します。

5. トロンボーン四重奏「ソナタ」(D・シュペール/独 1636-1707)

〔内田・赤尾・原田・小倉〕

この作曲者は、教会用の器楽曲を多数作曲し、音楽理論書も執筆している学者でもあります。ドイツらしい、シュタットプファイファー(都市に雇われた音楽家:集会などで活躍)による様式で書かれています。

6. 交響詩フィンランディア(J・シベリウス/芬 1865-1957 森岡 篤編曲)

〔北村・磯崎・岡本・小倉・赤尾・酒井・牛野・辻村・川俣・渡辺・塚田・小田・新谷・新井・山田・原田・内田・杉山・坪井・大内/木管:関谷・石橋・樋野・藤井・川俣・末村・岩城・柳〕

前回の「ニーベルクスの指輪」に続く森岡篤(当団の音楽監督兼指揮者)の編曲作品で、木管を加えた拡大アンサンブルによるシベリウスの代表作品です。舞台に向かって左側と中央がオーケストラの管楽器群で右側が弦楽器パート群という配置になっています。大編成の豪華な響きをお楽しみください。

第 2 部

7. シバの女王の入場(F. ヘンデル/独 1685-1759 アーチボルド編曲 森岡 篤ジャズアレンジ)

〔北村・山瀬・坪井・磯崎・大内・杉山・塚田・小田・新井・山田・酒井・内田・原田〕

オラトリオ《ソロモン》の第3幕冒頭で演奏される管弦楽曲を金管10重奏に編曲したものです。旧約聖書のソロモン王とシバの女王の物語を題材に、シバの女王がソロモン王の宮殿に到着した情景が描かれています。ドラムスを加えてジャズ風に演奏します。

8. メイム(ジェリー・ハーマン/米 1933- 岩井直博編曲)

〔北村・坪井・山瀬・渡辺・小田・山田・新井・小倉・内田・赤尾〕

1930年代のアメリカを舞台に、典型的なアメリカ女性メイムおばさんを描いたミュージカルの映画化のさらにリメイク版映画「メイム」の音楽。スイングやデキシーランドなど、アメリカ音楽満載の楽しい曲です。

9. サウランパート・ストリートパレード(S.アレン、R.ボーデュー、B.ハッガー/米 苺米博之編曲 大原実加筆)

[北村・坪井・小倉・原田・新井・小田・牛野・赤尾・内田・杉山・山瀬]

吹奏楽でもよく取り上げられるデキシーランドの曲です。ワセキンではアレンジャー大原実の加筆によってダブル・クワイヤの16世紀金管合奏スタイルに変身しました。一人ずつ全員のソロが登場します。

10. 中央フリーウェイ(荒井 由実/大原 実編曲)[坪井・山瀬・磯崎・杉山・大内・辻村・渡辺・小田・山田・牛野・酒井・原田・小倉・内田]

我々にとって、なんといっても学生時代はユーミンでした。レンタカー借りて中央高速に乗って、「あれがビール工場だ！あれが競馬場だ！」とサワイでいたのが去年のようです。TbのUなど、泣きながらソロを吹くと思います。

11. トロンボーン四重奏「笑うトロンボーン」(G・ローマン/独 小田桐寛之編曲)

[小倉・原田・酒井・赤尾]

ドイツのバイエルン地方に伝わる旋律を主題に用いて作られました。素朴で愉快的なポルカのリズムが、ビールでも一杯やりたくなるような気分にならせてくれます。「笑われ」ないように一生懸命練習しました。

12. 「ポーギーとベス」より ①序曲とサマータイム ②ベス、お前はおれの女だ ③ああ、俺にはないものばかり、そして終曲(G・ガーシュイン/米 1590-1667 D. パーサー編曲)

[北村・坪井・山瀬・大内・杉山・辻村・塚田・小田・新井・酒井・赤尾・原田・内田]

今回の演奏会のメインプログラムであり最難関曲です。「ナマズ横丁」に暮らす貧しい黒人達によるドラマを描いたガーシュインのオペラで、ゴスペルやジャズが多用されています。本日はその中から3曲を演奏します。

(※[]内はその曲の出演者で、客席から見た順に並んでいます。)

MEMBERS

(CONDUCTOR)

森岡 篤

(TRUMPET)

磯崎 直人(BACH/B)/大内 仁(BACH/C, SCHILKE/B, YAMAHA/FI)/岡本 誠司(BACH/B)

北村 和弘(BACH/D-Es, HOLTON/B, YAMAHA/PiccB)/杉山 雅彦(BACH/B, YAMAHA/FI)

坪井 賢一(BACH/D-Es, SCHILKE/B, BLESSING/FI)/山瀬 幸雄(BACH/B, Boosey & Hawkes/Es,)

(HORN)

川俣 裕章(ALEXANDER/103)/塚田 義昌(ALEXANDER/90G)/辻村 憲治(YAMAHA/CUSTOM)

渡辺 勇次(CONN)

(TROMBONE)

赤尾 達也(BACH)/石田 了(LATZSCH)/内田 憲一(EDWARDS)/小倉 啓美(COURTOIS)

酒井 忠雄(KROMAT/Bass)/原田 京一(BACH)

(EUPHONIUM)

山田 徹(WILSON)

(TUBA)

新井 英介(BESSON/Es)/牛野 広一郎(MEISTER ANTON/C)

(PERCUSSION)

小田 崇史(SONOR/YAMAHA)/新谷 仁奈(YAMAHA)

(FLUTE)

(OBOE)

(CLARINET)

(BASSOON)

関谷 憲昭/石橋 和幸 樋野 賢二/藤井達生 末村 洋子/川俣 裕之 岩城 慶太郎/柳 佳代子

※()内は、本日使用楽器です。PiccはピッコロTp、FIはフリーゲルホーン、BassはバスTbを示します。

□「まさか こんなことが続くとは」

本日はワセキンの第4回演奏会を見物、じゃなかったご来場いただき、ありがとうございます。ああっ！、今回は「見物」もあるんだ。われらがマイスター山瀬のヘンチクリンな、じゃなかった素晴らしい自作ラッパの数々をロビーにて展示しております。ぜひ、お手にとってご鑑賞ください。だいじょうぶ、楽器は噛み付きません。場合によっては即売いたします（うそ）。

これらの作品は実際に吹けるんですよ。本日のプログラム4曲め、アルテンブルクの協奏曲は7本のトランペットのための作品ですが、7本のうち4本はヤマハ、じゃなかったヤマセ工房の作品なのです。3番と5番奏者が手にしている細長いラッパは、第2回演奏会時にマイスターが製造した変イ調の直管ポストホルンです。

マイスターの本職は化学会社の幹部エンジニアですが、日夜自作ラッパの研究に余念がありません。ああっ！、日夜ではなくて夜だけです、はい。かくいう私もつい最近までマイスター製作のペットボトル改造ストレートミュートを使用しておりました。軽くて周囲を傷つせず、重宝していたのですがKに貸したら返してくれませんでした。昨年の演奏会で製造したポリバケツ改造トロンボーン用バケツミュートという奇怪な代物は、なんと他の団体に貸し出されていきました。

推定平均年齢も52歳を迎え、われらのゲージュツ活動は狂乱の時代に入りました。昨年のプログラムではこんなことを書きました。「特に名前を秘しますが、ホルンのTは推定5つのオーケストラとワセキンを掛け持ちし、仕事の手帳とホルン活動の手帳を分けて持ち歩く」——。それから1年、現在は会社を××し、10団体に参加するという発作的な音楽生活に入っております。これをわれわれは「T状態」と呼んでいます。

トランペットのKは相変わらず仕事の××に××し、スクーターでワセキンの練習の途中で他団体の本番に出かけ、またワセキンに戻ってから夜は別のオケの練習に行くという離れ業を続けています。これを昨年、われわれは「K状態」と定義しました。

ああっ！誤解しないでください。仕事はちゃんとしているんですよ。TはIT関連技術者で、Kは建築家（らしい）です。

さて、今回はまたまた「フィンランディア」で木管の仲間の参加を得て、指揮者・森岡篤の編曲による管楽合奏版を演奏します。過去最大規模の編成になるでしょう。金管アンサンブル×木管アンサンブルの共演をお楽しみください。

それにしても、まさかこんなことが続くとは。

(坪井賢一)

応援します。あなたの専門店「ダク」

Musical
Instruments
Shop

DAC

管楽器はダクで。

お問合せ先 **TEL (03) 3361-2211**

FAX (03) 3361-4300
Eメール: kkdac@poppy.ocn.ne.jp

営業時間 10:30~19:00 (※日祝日は18:00まで)

●ダクの定休日は毎月第1・第3水曜日です。

株式会社ダク 東京都新宿区百人町2-8-9 (〒169-0073)
ダクのホームページ <http://www.perinet.co.jp/users/dac/>



ダクの運営するミュージックスクール
Da Capo
MUSIC SCHOOL
ダカーポ

●入会のお申し込みは必ず様式に
TEL (03) 3361-4110
〒169-0073 東京都新宿区百人町2-6-4
※営業時間「ダク」でもお問合せ先を付けておきます。